



## 2月11日(木)

〈出演〉松尾慧(横笛・語り) / 《伽羅》野中久美子(能管)・川村旭芳(筑前琵琶)

〈演目〉琵琶歌「羅生門」 都の南を固める羅生門に住まう鬼の話  
語り「請来楽器後日譚」 楽器の不思議を語る中世の逸話3編を音楽にのせて  
笛二重奏「たまゆらの」 正倉院の笛・神楽笛・能管が奏でるいにしへの響き  
その他

## 2月12日(金)

〈出演〉六嶋由美子(語り) / 《伽羅》野中久美子(能管)・川村旭芳(筑前琵琶)

〈演目〉琵琶歌「五條の橋」 義経と弁慶の出会いを語る琵琶歌  
ひとりものがたり「源典待」 もう一つの源氏物語の世界を笛・琵琶とともに語ります  
琵琶と能管「春秋の曲」 四季をめぐる器楽曲  
その他

## 出演者プロフィール

### 《伽羅》

能管奏者の野中久美子と筑前琵琶奏者の川村旭芳によって2002年に結成されたユニット。ユニット名の“伽羅”とは最高級のお香の名前で、名香“伽羅”の薫りを聞くが如く、二人の響きを聴いて頂くようにと命名される。

### 野中 久美子 (のなか くみこ)



能管を松田弘之に師事。古典曲独奏に加え、世界の様々な楽器や舞、朗読との共演も行う。富士山五合目・屋久島縄文杉、等の野外での演奏、全国の神社寺院での奉納演奏も数多い。笛が結ぶ縁に従って、北海道から沖縄まで国内はもとより、アジア・ヨーロッパ諸国へも行脚しコンサートを行う。1998年から京都の大徳寺大慈院で「風響の会」を催し、毎年異なったジャンルからゲストを迎え、創意あふれる競演を行っている。長岡京市在住。

### 川村 旭芳 (かわむら きょくほう)



8歳より母の勧めにより、筑前琵琶日本旭会総師範 二代柴田旭堂に師事。若手演奏家で結成された和楽器ユニット「おとぎ」代表。1998年より、和楽器オーケストラ 邦楽合奏団「鼎」(KANAE)にも所属。現代曲においては薩摩琵琶も演奏し、他の楽団などへの助演も数多い。伝統的な語り芸を継承しつつ、和・洋・民族楽器、朗読、舞踊など他分野との共演にも力を注ぎ、教授活動も行っている。また近年は、新しい琵琶語り曲の創作にも取り組み、母、川村素子の作詞による作品も発表している。神戸市在住。

### 松尾 慧 (まつお けい)



日本の伝統的横笛(篠笛、神楽笛、能管、龍笛など)を演奏。ソロあるいは、琵琶、箏、三絃、和太鼓などの和楽器とのアンサンブルや雅楽、現代邦楽合奏のスタイルで演奏活動をするほか、ピアノ、チェレスタや11弦ギターとのアンサンブルでも活動中。能管を能楽森田流松田弘之師に、龍笛を伶楽舎宮丸直子氏について学ぶ。神奈川県藤沢市在住。

### 六嶋 由美子 (ろくしま ゆみこ)



10数年前から活動を始め、数多くの舞台経験から「ひとりものがたり」と名づけた独特な世界を展開する。自身の作・演出で、「源氏物語」など、主に日本の古典に題材をとり、みやびな時代衣装で語る。全国の社寺、ホール、ホテルなどで公演し、笛、箏、チェロ、マンドリンなど、楽器奏者との共演も多い。宇治市在住。